科目	数学研究	学年	第3学年	開講	通年	必修	2 単位
----	------	----	------	----	----	----	------

学習目標	ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。また、大学入試共通テストに対応できる力を育成する。
------	---

教科書：「数学B Standard」

副教材：「WIDE 数学Ⅱ+B」東京書籍 リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B受験編(a+b+c+d) 数研出版

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	ベクトル	平面上のベクトル	ベクトルの意味	・平面上のベクトルの概念を理解するとともに、ベクトルの加法・減法および実数倍、ベクトルの平行・分解、ベクトルの内積について理解する。	4	中間	☐	☐	☐
			ベクトルの加法・減法・実数倍				☐	☐	☐
			ベクトルの成分				☐	☐	☐
			ベクトルの内積				☐	☐	☐
		ベクトルの応用	位置ベクトル	・位置ベクトルおよび平面上の直線や円を、ベクトルを用いて表せることを理解する。 また、媒介変数表示についても理解し、そのよさを認識する。	6		☐	☐	☐
			ベクトル方程式				☐	☐	☐
			空間における座標				・平面と同様に、空間においても位置ベクトルを考 えることができることを理解し、内分点・外分点の 位置ベクトルを求めることができるようにする。ま た、空間における位置ベクトルのよさを認識する。	7	☐
		空間におけるベクトル	☐	☐	☐				
		位置ベクトルと空間の図形	☐	☐	☐				
		前期 授業評価							
後期	受験対策	数学Ⅱ+B	式と証明	・数学Ⅱ+Bの内容について、共通テスト の問題に答えられるようにする。	9	期末	☐	☐	☐
			複素数と方程式				☐	☐	☐
			図形と方程式				☐	☐	☐
			三角関数				☐	☐	☐
			指数関数対数関数				☐	☐	☐
			微分法と積分法				☐	☐	☐
			ベクトル				☐	☐	☐
			数列				☐	☐	☐
			後期 授業評価						

評価の観点

- ・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。
- ・事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できるかどうか。

評定の決め方

- 知識・技能：定期考查
- 思考・判断・表現：定期考查・レポート
- 主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート